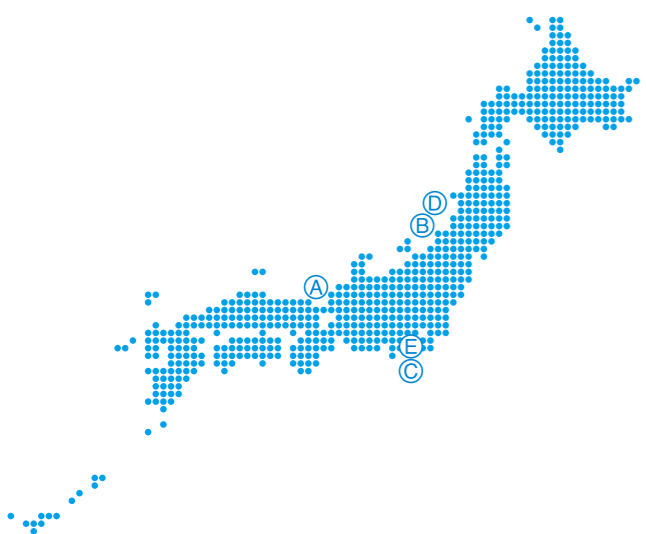


海難救助 活動レポート



A 機関故障により 岩場に漂着した ボートを救助

福井県水難救済会 美浜救難所

平成23年7月10日17時27分、敦賀海上保安部より、「美浜町・和田海水浴場の北東側にある岩場に、船外機付きミニボートが機関故障のため漂着している。乗組員3名が乗船している模様」との連絡が入った。救難所員と協力者の2名が用船「三良丸」に乗り込んで出動し、18時15分、現場に到着。乗員3名を救助船に揚収し、早瀬港まで機関故障したミニボートを曳航して、18時40分に入港、救助を完了した。

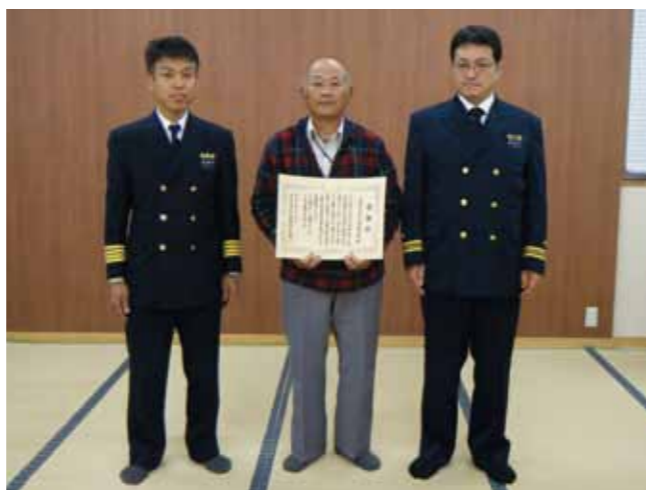


福井県水難救済会 美浜救難所
高橋 正浩さん（協力者） 川崎 仙治さん

B 転落者を救助し、 転覆した漁船を 港へ曳航

山形県水難救済会 念珠関救難所

8月25日22時50分頃、サザ工刺網漁網揚げを行っていた事故船は、根がかりしたため船を前後させて外そうとしたところ後方から波を受けて転覆した。アナゴ漁のため出港していた用船「海栄丸」が転覆した事故船と付近で浮いていた転落者を発見し、救助。いったん港に戻り、23時頃転落者を下船させた後、他の救難所員に出動を要請。転覆船の曳航作業を行い、23時30分頃事故船を入港させ係留した。



山形県水難救済会 念珠関救難所
所長 飯塚 厚司さん 栗田 義和さん
佐藤 勝則さん 本間 満さん
本間 元幸さん 本間 陽一さん
本間 健太郎さん 本間 鋼太郎さん
本間 喜美雄さん

C 沖合で故障した 水上オートバイと 漂流者2名を 迅速に助ける

千葉県水難救済会 富津救難所

平成23年9月9日13時10分頃、乗員2名を乗せたバナナボートをつけた水上オートバイが富津岬北側の海岸より遊走を開始。しかし、沖合で水上オートバイのエンジンが停止し、復旧が試みられたものの起動せず、漂流することとなった。船尾側にあるドライブシャフトが外れ、浸水が始まったことから、バナナボートの乗員1名が泳いで救助を求め、同行していた知人が気づいて118番通報を行った。木更津海上保安署から出動要請を受けた救難所員が13時48分頃、救助船「ふつつ2号」により発動。14時頃、漂流していた2名と水上オートバイを救助した。



千葉県水難救済会 富津救難所
所長 佐久間 國治さん 森田 義幸さん
平野 佳孝さん 渡辺 瀧雄さん
大湖 安雄さん 長谷川 義和さん
平野 時宏さん 大胡 浩さん



D 漁船の転覆を 救難所員が発見、 乗員を救助し 船を港へ曳航

山形県水難救済会 加茂救難所

11月8日5時30分頃刺網漁業操業のために加茂港を出港した事故船は、6時10分頃、金沢沖500m付近で網上げを終え帰港する際に、右舷側からの横波を受け転覆した。7時30分頃、転覆している船を陸から視認した救難所員より加茂救難所に連絡が入った。所長は直ちに救難所員を招集し、用船「辨天丸」にて現場に急行させた。7時45分頃現場に到着し、船外機につかまっている船長を発見、救助した。転覆していた事故船は辨天丸に曳航され、8時30分頃加茂港に入港した。



山形県水難救済会 加茂救難所
所長 加藤 達男さん 副所長 本間 直光さん
佐藤 義明さん 佐藤 平作さん
田澤 友三さん 佐藤 藤作さん
齋藤 和男さん 佐藤 兼太郎さん
佐藤 広造さん 坂本 清さん

⑤ 海苔養殖施設に 突っ込み 航行不能になった 船を引き出す

千葉県水難救済会 金田救難所

平成23年10月30日18時30分頃、木更津海上保安署よりプレジャーボートが海苔養殖施設で遭難しているとの連絡が金田救難所に入った。所長は救難所員に招集をかけ、18時50分頃、救助船「第18金協丸」に乗船し、現場に向かった。19時25分頃現場に到着し、乗員4名を救出。夜間により船体救出ができないため、19時55分頃いったん中島漁港に帰港した。翌31日6時50分に救難所員が再度集まり第18金協丸にて現場に向かい、7時40分に事故船の船体を海苔養殖施設より引き出した。その後事故船を曳航して8時5分に中島漁港に帰港、木更津海上保安署に引き渡した。



千葉県水難救済会 金田救難所

荒井 栄さん 大村 安一さん
 栗田 隆義さん 錦織 正行さん
 浅野 政男さん 緑川 太平さん
 石渡 房雄さん 青柳 和夫さん

青森県漁船海難防止・水難救済会 小泊救難所

平成23年7月8日、中泊町小泊崎5哩の海上で、秋田県船川港から宮城県気仙沼港に回航途中の漁船が舵故障のため自力航行不能となり漂流中との連絡が青森海上保安部より小泊漁協に入り、漁協が救難所に出動を要請。11時頃、救助船「松宝丸」と「一洋丸」が現場に向かった。竜飛岬南西2哩地点で漂流中の事故船を発見し、松宝丸が曳航、13時5分頃小泊港に無事入港した。乗員2名はケガもなく無事だった。

山形県水難救済会 豊浦救難所

平成23年7月15日、遭難者2名は自家用車でけん引してきたプレジャーボートを鶴岡市堅苔沢漁港から海上に下ろし、同船に乗り込んで漁港沖の離岸堤付近を漂流しながら釣りをしていた。8時頃、釣り場を移動するため船外機エンジンを起動させようとしたところ、突然エンジンが脱落し、航行不能となった。8時12分、118番通報にて救助を求める。酒田海上保安部より要請を受けた救難所救助長は8時40分頃用船「第十一仁豊丸」に乗り込んで出動。プレジャーボートを発見し、堅苔沢漁港まで曳航した。9時35分頃救助活動を終え解散。救助されたプレジャーボートには救命胴衣が備えられていなかった。

千葉県水難救済会 富津救難所

平成23年7月26日15時50頃、3名を乗せた水上オートバイが推進器障害のため故障。漂流状態となった。16時30分頃、木更津海上保安署所属の保安官と救難所員1名が救助船「ふつつ2号」に乗船し出動、後発で救助船「ふつつ」も出港した。16時40分頃、「ふつつ2号」は富津岬北東側の明治百年記念展望台から沖合700m付近で救命胴衣を着用し漂流中の2名を揚収。16時55分頃、「ふつつ」はさらに沖合300mのところ漂流中の水上オートバイと会合、「ふつつ2号」と協力し、乗船していた1名を「ふつつ2号」に揚収した。水上オートバイはドライブシャフトの吸入口からロープを吸い込み、航行できない状態であった。曳航状態の安定を図るため、海上保安官が水上オートバイに乗船し、「ふつつ2号」で曳航しながら17時30分富津漁港に入港、救助を完了した。

山口県水難救済会 下関蓋井島救難所

平成23年8月21日7時頃、下関市蓋井島灯台から南東に500mのところプレジャーボートが転覆。一般人の通報により、7時30分、救難所員7名を乗せた救助船「第一協栄丸」が出動した。4名の乗員のうち1名が負傷していたため、先に負傷者を救命浮環にて救助した後、順次3名を救助。転覆した事故船にはそのままロープをつけ、漁港まで曳航して係留した。負傷者は頭にケガを負っていたものの軽傷であった。



(社) 福岡県水難救済会 馬島救難所

平成23年9月23日5時頃、497トンの貨物船が座礁。浅瀬に船首が乗り揚げるかたちとなった。5時30分に救助船「若潮丸」と「盛徳丸」に分乗して7名の救難所員が出動。駆けつけたタグボートが事故船を曳きやすいよう、救助船2隻が船の後部を曳き、該船の方向転換に協力した。7時、事故船をサルベージに引き継いだ。

(社) 北海道漁船海難防止・水難救済センター 白老救難所

平成23年10月15日3時頃、白老町白老港の沖合で、漁船が消波ブロックに乗り揚げた。事故船船主より救助要請が入り、いぶり中央漁協より白老沖で操業していた定置網漁船「第三十三幸羊丸」、ほっけ刺網漁船「第88新栄丸」に連絡、両船は救助に向かった。事故船を現場に残し、船長を含む乗員4名を無事救助して帰港。その後、室蘭海上保安部に連絡し、事故船をタグボートにて離礁させた。